

「分子生体応答セミナー」を開催

2018年7月13日

7月13日（金）、金沢大学がん進展制御研究所 4F 会議室において、東京大学医学系研究科 分子病理学 助教 高橋恵生 先生 をお招きして、分子生体応答セミナーを開催しました。

セミナーでは、「組織透明化手法のがん研究への応用」という演題で、透明化技術のがん研究の応用に関して講演していただきました。

新しい方法に関する最新の知見が紹介され、大変有意義なセミナーとなりました。

セミナーには、研究所内外の教職員、大学院生等約 31 名が参加し、活発な質疑応答や意見交換が行われました。



分子生体応答研究分野セミナー

日時:2018年7月13日(金)17:00~18:00

場所:がん進展制御研究所・会議室(4階)

**演者:高橋 恵生 先生
(東京大学・医学系研究科・分子病理学・助教)**

**演題名:
組織透明化手法のがん研究への応用**

組織透明化技術は主に神経研究分野で活用されてきた手法です。高橋先生は、2015年ごろから、東京大学・宮園浩平先生のもと、マウスモデルを用いて膵臓がんの微小環境の研究を行うと同時に、東京大学・上田泰己先生との共同研究にて透明化技術をがん研究への応用を行ってきています。その結果、これまで観察することが難しかった臓器深部に生じた転移の可視化や、1細胞レベルでの転移数の定量化に成功しています。本発表では組織透明化手法の今後のがん研究へ応用についてお話していただく予定です。

多くの方のご来聴を歓迎いたします。

向田 直史(分子生体応答・内線6735)